

SAMPLE

サーフィン教室 安全管理マニュアル

※注:このサンプル集はあくまで参考として活用ください。
体験プログラムの業態・規模・レベルに応じて各自で必要な資料を作成下さい。
サンプル使用によるトラブル等に関して、高知県としては一切責任を負いません。

サーフィン教室 安全管理マニュアルチェック表

シーン	大項目	小項目	内 容	資料 No.	
1.実施前	①プログラム実施の可否判断	各種許可申請、法令・条例に基づく資格取得の必要の有無確認	・法令・条例に基づく許可申請、資格取得は必要ない		
		保険メニューの確認	・別紙のとりの保険を契約	01	
	②参加者レベル	事前周知	以下について参加者に周知する ・水着タオル持参。それ以外は手ぶらでOK（ウェットスーツ等はいらない） ・スクールの時間案内 ・波や雷の影響で急遽中止の場合があること ・1～2日前に催行を判断し連絡		
		参加者レベルの設定	・小学生以上（上限はないが70歳ぐらいまで）		
		外国人対応	・セーフティーク（安全説明）と保険関連について説明書を作成（英語対応可）		02
	③予見・回避	危険箇所の想定と対策	・海上の危険箇所記載したをマップ →最近岩が露出してきた。潮の流れや、クラゲ(8月下旬)、エイ(梅雨)のシーズンには口頭で注意。 ・緊急時の連絡先（病院、警察、消防）のリストを作成		03 04
			対策に必要なトレーニングや専門家アドバイス	・インストラクターは〇〇〇の教室に同行しながらトレーニング ・オンラインで受講できるハワイのガイドトレーニングを受講予定 （海中での必要なスキルを勉強） ・Surfing Australia Surf School Operations Manual を参照	05 06
		救命講習の受講	ガイドは●●●消防署が実施する「普通救命講習1」を受講		07
		③予見・回避	地域住民、警察、消防、病院との連携協議	・緊急時の連絡先（病院、警察、消防）のリストを作成	
	事故発生時の情報共有の方法、対応体制		・事故等の緊急時の対応マニュアルを作成し、ガイド時に携帯		06
	④装備	装備品の確認・装着	・レンタル品については、都度チェックする。 ・適正な使用方法について参加者に説明する。		05
		参加者の私物使用の場合の基準	・ソフトボードのみ使用可能。ハードボードは使用不可 ・ウェットスーツ		05

サーフィン教室 安全管理マニュアルチェック表

シーン	大項目	小項目	内容	資料 No.
1.実施前	⑤天候	中止、変更の判断基準	・天気図等を見て判断 ・雨天であっても実施する。雷や波の影響で危険なときは中止。 ・スクール中に雷がなったときは中断する。状況を見て改善すれば再開。	
		天候悪化時の別ルート	・波の状況によりポイントを変える	
	⑥申込書 (同意書)	申込書(同意書)の作成	・以下について明記した申込書(同意書)を作成 ●健康チェック ●講習中の病気または事故(天災、人災、不慮の事故含む)によるトラブル ●写真・ビデオ撮影データ使用の承諾のお願い	09
	⑦体調管理	体調確認(本人)	・体調チェックシートを作成し、当日参加者に確認する	10
		体調確認(事業者)	・顔色、応対で異常がないか目視で確認する ・腰痛(ぎっくり腰)、コンタクトやジュエリーの装着についても確認する	
	⑧安全説明	チェックリスト作成	・セーフティーク(安全説明)で確認・説明するべき事項のリストを作成 ●免責事項及び誓約書 ●体調確認 ●津波避難場所 ●装備 ●海のルール ・説明時に体調不良等により参加を認められない参加者が出た際には、十分に理由を説明し、理解が得られない場合などは、毅然とした態度で対応する。	11
	⑨衛生管理	衛生管理の徹底	・ガイドインストラクターや参加者やアルコール消毒、検温、マスクの着用(屋外の体験でマスクを外してもよい場面でアナウンスを行う)	
	⑩保険	補償範囲の明確化	・保険内容について保険会社と確認	01
		補償内容の説明	・参加申込書、安全説明で補償内容について説明を実施	
		レンタル機材の補償	・レンタル機材の不備による事故の補償について保険加入済み (生産物賠償責任保険)	
	⑪免責事項の留意点	免責事項の説明	・「危機管理は自己責任であることを十分認識し、同意する。ただし法的権利を何ら放棄するものではない」との記載を参加申込書に記載	09

サーフィン教室 安全管理マニュアルチェック表

シーン	大項目	小項目	内容	資料 No.
1.実施前	⑩免責事項の留意点	免責が無効となった場合の対処	・加入している保険で対応する	
	①予見判断	中止・変更の判断基準	・セーフティーク（安全説明）で中止・変更の判断基準について説明	11
		リスク回避方法の設定	・ボードが飛んできたときには、自分のボードを立てるまたは、水中に潜る	
	②事故防止対応	注意喚起	・ルートマップに注意喚起のポイントを明記	03
		参加者レベルに応じた進行	・参加者のレベルや状況に応じて適宜進行スピードの調整や休憩を取る ・インストラクター1人で参加者3人まで対応。 ・コロナ禍で密をさけるため1回のスクールで受ける最大人数は6人まで。今年は8人まで引き上げる予定。	
		実施中の参加者の体調確認	・ガイド実施中に参加者と積極的にコミュニケーションを取り、体調変化に気を配る。	
	③事故対応（実施中）	事故対応の手順	・事故等の緊急時の対応マニュアルを作成し、ガイド時に携帯	06
事故処理後の記録作成		事故処理後に必要な記録項目（現場写真、スタッフ・参加者聞き取り等）を定めた、記録シートを作成	13	
3.実施後	①事故対応（実施後）	被害者及び関係者の心情に配慮した対応	・被害者の心情を優先した言葉使いや配慮を心掛けるよう、緊急時対応マニュアルに記載する	06
		保険会社や弁護士への確認・相談	以下に確認・相談を行う体制を取る ・保険会社：■■■■■	
	②事故後のフォロー	謝罪、補償対応	以下に確認・相談を行う体制を取る ・保険会社：■■■■■	
	③事故報告書の作成	事故調査報告書の作成	・事故調査報告書の項目を整理	14
		調査結果の共有・公開	・調査結果については、被害者やその関係者の確認や同意を得たのち、適正に共有、公開することで再発防止につなげる ・今後の事故防止対策に生かせるよう、調査結果については、同業者間で共有する	

事業概要

事業名	サーフィン教室
事業者名	〇〇〇〇
住所	
連絡先	
責任者	
事業内容	・ビギナーサーフィンコースの実施 ・レンタルボード、ウエットスーツレンタル
契約保険会社	■■■■会社
ガイド氏名	

【損害保険】

作成日: 令和 年 月 日

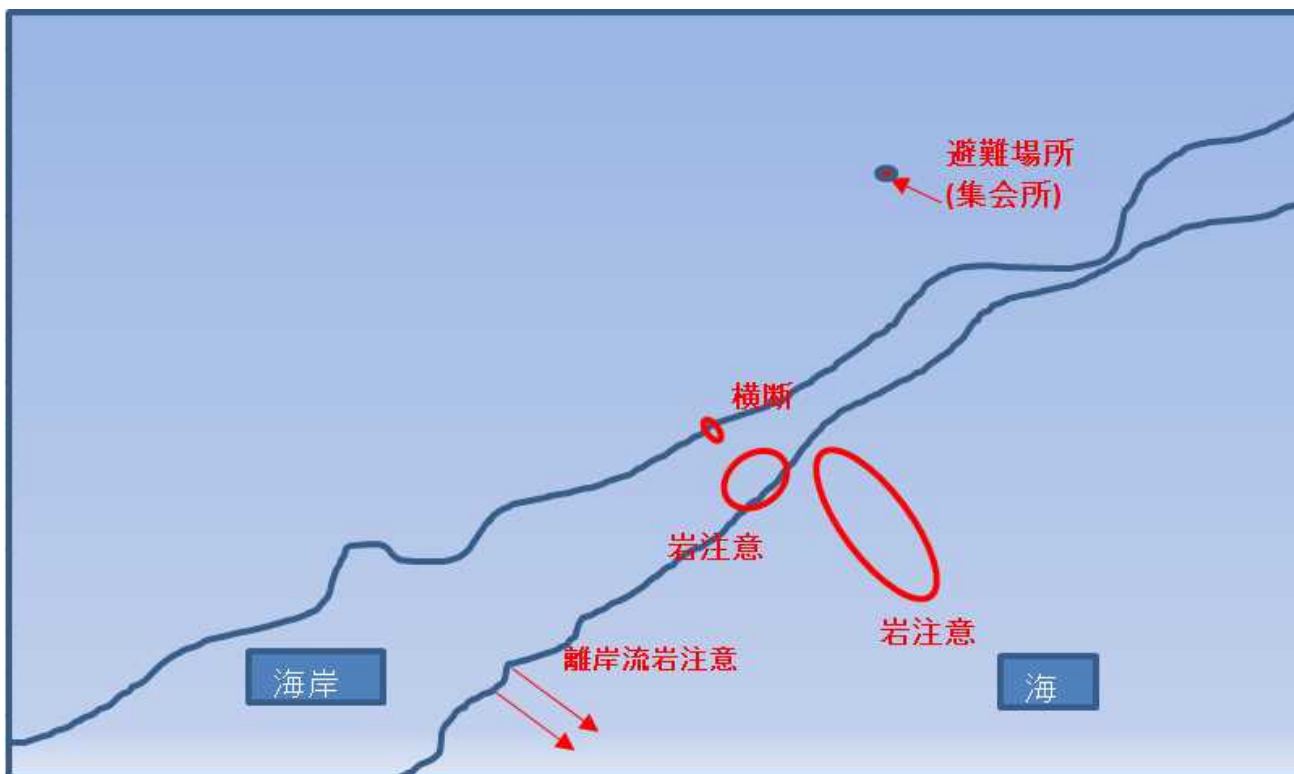
保険会社	保険種類	補償内容	保険期間	備考欄
■■■■会社	スポーツ 施設所有管理者 (レンタル商品等)	対人・対物ともに 円	1年間	
▲▲損害保険(株)	国内旅行傷害保険 サーフレッスンの行 事参加者	1名あたり 死亡(万円) 入院(円) 通院(円)	1年間	

■■■■会社
担当 : ▲▲

契約書のコピーを貼り付け

No.	項目	説明内容
1	免責事項及び誓約書	<ul style="list-style-type: none">・出発・終了予定時間、経由地の説明・左側通行、ハンドサインの説明・ガイドの指導に従わない場合はツアー中止になる場合がある
2	体調確認	<ul style="list-style-type: none">・別紙の体調チェックシートに各自記入し、「はい」が1つでもあれば参加を中止すること
3	津波避難場所	<ul style="list-style-type: none">・津波避難場所の案内と確認
4	装備	<ul style="list-style-type: none">・リーシュの扱い方・ボードの使い方・砂浜まではボードに乗らない
5	海のルール	<ul style="list-style-type: none">・ビギナーが多いビーチなので、人と距離をとる

※現時点で英訳していないが、英訳可



連絡先	電話番号	備考
●●●市民病院	***-**-*****	急患、休日対応は△△△△病院 ***-**-*****
●●●●消防署	***-**-*****	
▲▲▲警察署	***-**-*****	

05 定期点検記録

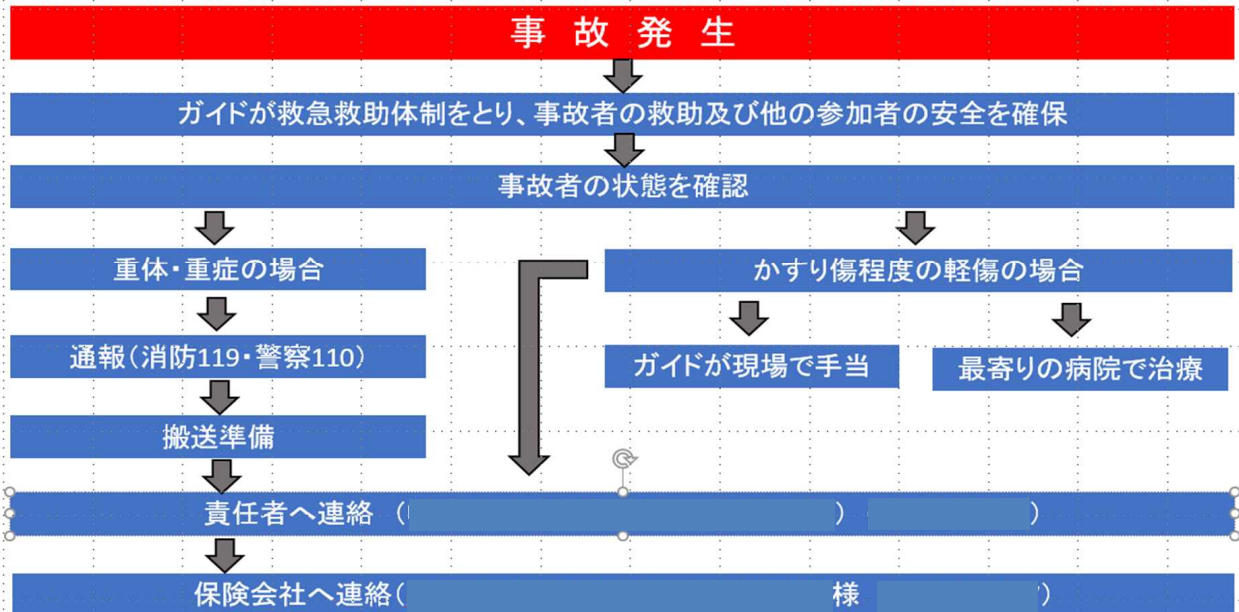
SAMPLE

✓:異常なし ○:調整・注油 △:修理 ×:交換

点検箇所		点検項目	1	2	3	4	5
1	リーシュー	破損がないか。切り込みがないか。ボードと繋ぐところが弱っていないか。					
2	ボード	ボードのコンディションのチェック					
3	フィン	ねじでとまっているので、きちんとついているか					
4	ワックス	必ず塗る					
5	携行するもの	簡易救急箱・帽子・日焼け止め・水					

実施日	年 月 日
実施者名	

緊急時対応マニュアル



07 救命講習受講者リスト

SAMPLE

No.	受講年月日	受講場所	受講種別	講習者名
1			普通救命講習	
2			普通救命講習	
3			普通救命講習	
4			普通救命講習	
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

免責事項及び誓約書

■■■■■■■■■■では、講習を安全に行うために、体温の測定と下記の項目をチェックしております。
該当箇所に、チェック（レ）をお願いいたします。

- 咳・頭痛・発熱などの体調不良ではありません
 2.5m以上、泳ぐことができる。
 睡眠不足・二日酔いではない
 心臓疾患などマリンスポーツに危険を伴う疾患がない。

また、当店では、講習中の安全管理には、十分に配慮しておりますが、万が一、講習中の病気または、事故（天災、人災、不慮の事故を含む）によるトラブルに関して、一切の責任を負いかねますことをご了承ください。

なお、当店では、万が一のための保険をご用意いたしております。サーフレッスンをされるお客様にはコースに保険が含まれております。

Please note, all our participants are required to join our insurance plan.

上記の内容を確認の上、承諾いたしました。

《写真・ビデオ撮影データ使用の承諾のお願い》

このたびは■■■■■■■■■■をご利用くださいまして誠にありがとうございます。当■■■■■■■■■■ではホームページ・フェイスブック・インスタグラムにてご参加いただいたお客様の写真を掲載させていただいております。できましたら、今回のスクールの写真も、当■■■■■■■■■■ホームページやその他SNS媒体に掲載させていただきたく、お願い申し上げます。つきましては、下記の項目にチェックとご署名の上、ご承諾の可否をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

記画像（動画・静止画）使用承諾書

私は、■■■■■■■■■■が撮影した、私が写っている写真及び動画を、上記の目的と方法で使用されることに

承諾します 承諾しません

-----Year/年 -----month/月 -----day/日

Name / 署名 _____ (_____ age/才)

facebook



Instagram



■■■■■■■■■■

■■■■■■■■■■

10 体調チェックシート

SAMPLE

参加日： 年 月 日

参加者 署名： _____

No.	チェック項目	回答	
1	足腰の痛みが強い	はい	いいえ
2	37.5℃以上の熱がある	はい	いいえ
3	体がだるい	はい	いいえ
4	吐き気がある、気分が悪い	はい	いいえ
5	頭痛やめまいがする	はい	いいえ
6	耳鳴りがする	はい	いいえ
7	過労気味で体調が悪い	はい	いいえ
8	睡眠不足で体調が悪い	はい	いいえ
9	食欲がない	はい	いいえ
10	二日酔いで体調が悪い	はい	いいえ
11	下痢や便秘をして腹痛がある	はい	いいえ
12	少し動いただけで息切れや動悸がする	はい	いいえ
13	咳やたんが出て、風邪気味である	はい	いいえ
14	胸が痛い	はい	いいえ

1つでも「はい」があれば、
本日のツアーには、
参加できません。

全て「いいえ」であれば、
無理のない範囲で安全に
ツアーに参加してください。

11 安全説明(セーフティーク)リスト

SAMPLE

No.	項目	説明内容
1	中止・変更の判断基準	<ul style="list-style-type: none"> ・実施中に雷や波の影響で危険なときは中止。状況を見て改善すれば再開 ・波の状況によりポイントを変える時がある
2	免責事項及び誓約書	<ul style="list-style-type: none"> ・出発・終了予定時間、経由地の説明 ・左側通行、ハンドサインの説明 ・ガイドの指導に従わない場合はツアー中止になる場合がある
3	体調確認	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙の体調チェックシートに各自記入し、「はい」が1つでもあれば参加を中止すること
4	津波避難場所	<ul style="list-style-type: none"> ・津波避難場所の案内と確認
5	装備	<ul style="list-style-type: none"> ・リーシュの扱い方 ・ボードの使い方 ・砂浜まではボードに乗らない
6	海のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・ビギナーが多いビーチなので、人と距離をとる

※1～3は受付時。 4～は砂浜で説明。

記録事項	内容	備考
事故発生からの動き	時刻と内容	<ul style="list-style-type: none">・ガイド、事故者、ほかの参加者の動きまでできるだけ細かく記録・当日だけではなく、後日の事故者への対応も記録
事故現場の写真	現場及び事故車両の写真	<ul style="list-style-type: none">・当日の撮影が困難な場合は、後日でも可
事故相手の連絡先	相手がいる場合は氏名、住所、連絡先を記録	<ul style="list-style-type: none">・相手側の保険会社の連絡先も確認

章番号	大項目	小項目
1	事故調査委員会の構成	
2	事故概要	事故発生時の目撃情報
		事故発生後の主な時系
		事故発生までの当事者の様子
		現場検証結果
3	ルート上の危険箇所と事前対策	事前調査の内容
		救護体制
4	安全対策	問題点
		今後の事故発生防止策
5	第三者の所感	